

会 議 要 旨

会議の名称	令和元年度第3回川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
開催日時	令和元年10月8日(火) 14時から15時20分まで
開催場所	川越市総合福祉センターオアシス 3階 社会適応訓練室
出席者(委員) 氏名(人数)	樋口委員、小野澤委員、原島委員、佐藤委員、野村委員、岡庭委員、原委員、村上委員、柴田委員、田中委員(10名)
欠席者(委員) 氏名(人数)	高橋委員、岡田委員、荻野委員、木内委員、芝波田委員、本郷委員、藤倉委員、島田委員(8名)
事務局職員 氏名	市：福祉部長、副部長兼福祉推進課長、福祉推進課職員 社協：事務局長、地域福祉課長、地域福祉課職員 コンサル：地域計画株式会社 鈴木氏
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の中間評価について (2) 地区別福祉プランの中間評価について (3) 基礎調査(案)について 4 その他 5 閉会
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 みんなでつくる福祉のまち川越プラン 中間評価(案)</p> <p>資料2 川越駅西口市有地利活用事業における行政機能</p> <p>資料3 川越市民サービスステーションレイアウト</p> <p>資料4 地区別福祉プラン中間報告</p> <p>資料5 地区別福祉プラン中間評価シート(22地区分)</p> <p>資料6 基礎調査(案)一般市民向け</p> <p>資料7 基礎調査(案)団体向け</p> <p>資料8 基礎調査(案)関係機関向け</p>

議 事 の 経 過

事務局	<p>1 開会 会議の公開についての承認</p> <p>2 挨拶 ●佐藤会長挨拶 ●過半数の委員出席による会議の成立の報告 ●会議資料の確認</p> <p>3 議題 (1)「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」中間評価（案）について</p>
事務局	<p>○資料2、3に基づき、西口総合相談窓口について事務局より説明。 ○資料1に基づき、中間評価（案）について事務局より説明。 (質疑、意見等) 特になし</p>
事務局	<p>(2)地区別福祉プランの中間評価について ○資料4、5に基づき、地区別福祉プラン中間評価について事務局より説明。</p>
議長	<p>(質疑、意見等) ●地区ごとの計画なので、地区の方の主体性を尊重しながらも、全体としての評価できる点等もみえてきている。評価の低い取組にはCSWが介入していく必要があるなど、ニーズを掘り起こし、地区ごとでみえてきた課題を今後につなげていけるとよい。</p>
委員 事務局	<p>●P2表2のような評価点の高い地区の共通点はあるのか。 ⇒地域の中で話し合いの場を多く持っている地域が比較的評価が高い。話し合いの場が多いので、自分たちの課題を把握していて、解決に向けて活動できている傾向がある。</p>
委員	<p>●うまくいっているところを活かして底上げしていけるとよい。</p>
委員	<p>●市と社協と併せてだが、計画に載っている重点項目（総合相談窓口、CSW）が順調に進められており、成果も出ている。地</p>

委員	<p>区別福祉プランについても各地区の評価がこれだけ出せることはすばらしい。</p> <p>今後については、CSWが2層（地区社協区域）とサービスステーションにどう関わり、どう連携していくかが新たな目標になるのではないかと思う。具体的には、市の総合相談窓口とCSW、既存の包括支援センターなどの調整役が、どのように連携していくのかについて協議を進めていくといいのではないかと感じた。</p> <p>●地区別の中間評価シートだと、霞ヶ関地区目標1の一番下『関係機関や団体等と協力し、地域で抱える課題等を話し合い検討していきます』の②が、先ほど申し上げた機能が有効的に動いている良い例になると思う。</p> <p>相談を受けると支援をする必要が出てくる。総合相談で受けるような難しい事例に対応していくには、行政だけでは難しいこともある。地域の方々とうまく連動していかないと、例えば民生委員さんだけに負担がかかるというようなことになりかねないので、今後、市と社協が中心となって協力体制を構築してほしい。</p>
事務局	<p>(3)基礎調査（案）について</p> <p>○資料6～資料8に基づき、基礎調査（案）について事務局より説明。</p>
委員	<p>(質疑、意見等)</p> <p>●市民向け調査のP2問10について、表の『知らない』は無関心のイメージである。『わからない』や『活動があることを知らない』の表現の方がよいのではないか。</p> <p>また、P5問18や問21には、その他の項目を入れた方がよいのではないか。</p>
議長	<p>●『知らない』という、あえて無関心を諮るのもひとつだと思う。</p>
委員	<p>●一般向け調査については、平成27年の調査も踏まえ、回答率を上げる努力をお願いしたい。</p>
委員	<p>●市民向け調査P2問10は、『知っているけど参加したくない』という項目を入れてもいいのではないか。</p>

委員	●数字としては多くはないと思うが、『知らない』『わからない』『したくない』があってもよいと思う。
議長	●市民向け調査P2問10の『知らない、わからない』については、各委員からの意見を踏まえて、事務局で検討をお願いしたい。
事務局	<p>4 その他 第4回地域福祉専門分科会については、令和2年2月を予定。 詳細が決まり次第、また文書にてお知らせをする。</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">〔15時20分終了〕</p>